



栄養評価

# 食餌歴を綿密に記録する

正確で広範囲な食餌歴は、栄養評価の一部であり、ペットの食餌が全体として栄養的に完全でバランスのとれたものかどうか、そのペットにとって最適かどうかを判断するうえで役立ちます。栄養的に完全であることは、効果的な食餌の推奨を作成し、提供する際にも不可欠です。さらに、綿密な食餌歴により、人間の家族がペットとの交流にどの程度食物を使っているかを示す情報が得られます。



質問を使って飼い主から情報を引き出す際には、何を質問すべきかを理解していることは確かに重要ですが、正しい質問をするだけでは十分ではありません。実際のところ、どのような言葉を使って質問をするかによって、飼い主の回答の量と質が左右される可能性があります。さまざまな自由回答形式の質問をファネル法（広範囲から絞り込んでいく方法）で行うことにより、質の高い情報を引き出すことができます。

キーメッセージ

- 詳細な食餌歴には、通常の1日にペットに与えている**すべての**食物を正確に記録しなければなりません。食餌が栄養的に完全でバランスがとれており、ペットのライフステージと健康状態に適切であるかどうかを判断するには、綿密性と正確性が不可欠です。食餌歴には、次の項目を含めます。
  - ペットフードのブランド、形状、味（量を含む）、計量方法、給餌回数、ペットが食べ終わるまでの時間
  - スナックやおやつ（デンタルガムを含む）のすべてのブランド、種類、量、給餌回数
  - 人間の食べ物やおこぼれの給餌量と回数
  - 栄養サプリメント（トッピング、プロバイオティクス、グルコサミン、コンドロイチンなど）のブランドと種類
  - 味付きまたは咀嚼可能な医薬品
  - 投薬のために使用するフード
  - チューイングトイの種類
  - その他の食べ物（家庭にいる他のペット、隣人など）へのアクセス
  - 歯磨き粉

(次のページに続く)

## キーメッセージ (続き)

- 飼い主が自宅で食餌歴フォームを記入し、次の来院前に提出することにより、動物医療チームは事前に食餌歴を確認しておくことができます。また、コンサルテーションや診察中に、詳細を明らかにしたり、情報不足を解消したりする時間を節約することにもなります。
- 研究により、飼い主の視点から食餌歴の聞き取り調査を行うと、より多く、より詳細な情報を飼い主から得られることが明らかになっています。
  - 広範囲にわたる自由回答形式の「話をさせる」質問は、多くの情報を引き出す傾向があります。例えば、「[ペットの名前] ちゃんが朝起きてから夜寝るまでの1日に食べるものを全部教えてください」といった質問です。
  - 的を絞り込んだ自由回答形式の「特定する」質問 (例えば、「[ペットの名前] ちゃんには、どのようなおやつをいつあげていますか?」など) は、特定の食物や与え方を詳しく聞き出すのに有効です。
  - 選択回答式の質問は、詳細を明らかにする場合に有効です。例えば、「[ペットの名前] ちゃんは食べ物に興味がありますか?」などの質問です。

## その他のリソース

Coe, J. B., O'Connor, R. E., MacMartin, C., Verbrugghe, A., & Janke, K. A. (2020). Effects of three diet history questions on the amount of information gained from a sample of pet owners in Ontario, Canada. *Journal of the American Veterinary Medical Association*, 256(4), 469–478. doi: 10.2460/javma.256.4.469

Eirmann, L. (2016). Nutritional assessment. *Veterinary Clinics of North America: Small Animal Practice*, 46(5), 855–867. doi: 10.1016/j.cvs.2016.04.012

Freeman, L., Becvarova, I., Cave, N., MacKay, C., Nguyen, P., Rama, B., Takashima, G., Tiffin, R., Tsjimoto, H., & van Beukelen, P. (2011). WSAVA nutritional assessment guidelines. *Journal of Small Animal Practice*, 52(7), 385–396. doi: 10.1111/j.1748-5827.2011.01079.x

Kealy, R. D., Lawler, D. F., Ballam, J. M., Mantz, S. L., Biery, D. N., Greeley, E. H., Lust, G., Segre, M., Smith, G. K., & Stowe, H. D. (2002). Effects of diet restriction on life span and age-related changes in dogs. *Journal of the American Veterinary Medical Association*, 220(9), 1315–1320. doi: 10.2460/javma.2002.220.1315

MacMartin, C., Wheat, H. C., Coe, J. B., & Adams, C. L. (2015). Effect of question design on dietary information solicited during veterinarian-client interactions in companion animal practice in Ontario, Canada. *Journal of the American Veterinary Medical Association*, 246(11), 1203–1214. doi: 10.2460/javma.246.11.1203

Michel, K. (2009). Using a diet history to improve adherence to dietary recommendations. *Compendium: Continuing Education for Veterinarians*, 31(1), 22–24.

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。